

土庫病院友の会山歩きクラブの金剛山雪中登山 27人が参加

1月11日土庫病院友の会山歩きクラブ主催の「金剛山雪中登山」に参加した。

土庫病院に隣接する老健施設「ふれあい」前をマイクロバスで朝7時過ぎに出発。登山口の水越峠から8時10分登山開始。山は雪に覆われ、すぐに深い雪を踏んで歩くようになる。まもなくアイゼン装着。3つの班に分かれて登る。途中1～2人のアイゼンがはずれるなどはあったが、10時20分山頂にある葛木神社前(標高1125m)に到着。道も笹も雪が積もって、白、白、白。雪をかぶり、枝枝に霧氷を張りつけた大木が陽光を浴びてきらめきながら晴れ渡った空に向かって林立している。



雪、氷、青空が造り出す絶景を楽しみつつ、国見城跡広場(写真上)で昼食。登山者たちが餌を手に乗せて「鳥寄せ」を行っている。一年中登山客の多いこの山の小鳥は人馴れしているのか、ヤマガラ、ゴジュウガラ、コガラが登山者の手に乗って餌をついばむ。「野生動物への給餌はダメ」の戒めが頭をかすめるが、黙って見守る。

11時30分下山開始。大日岳山頂を経て太尾道を下る。深い雪がクッションとなって膝にやさしい。楽しくおしゃべりしながら歩いて13時20分登山口に帰着。先行組の人達が準備してくれたコーヒーで体を温める。感謝、感謝。参加費マイクロバス利用者1900円、マイカー利用者400円。

同クラブの当面のとりくみ

○1月29日 総会(午後1時～)

午後2時半～ 第5回ハイキング講座「一次救急救命措置について」

講師・指導 土庫病院の矢持医師、看護師

会場 健生荘2階多目的室(高田市日之出町)

○2月19日(土) 午後1時半～ 第6回ハイキング講座「山の歌をうたう会」

会場 六反田池会館(高田市日之出郵便局西隣)

○3月16日(水) 熊野古道・藤白坂～宮原を歩く(バス使用の日帰り)

二上山だより

二上山はきれいになっただろうか？



美しい色のマユミの実(太子町で) のだ。「(二上山の)雄岳の頂上に近づき、何よりもまず皇子(大津皇子のこと＝松尾)の墓の前に大地を被って散乱するゴミのすさまじさに言い知れぬ憤りを覚えた。『あなたは何のために、ここまで登って来たのですか』姿のない登山者の一人一人に聞いたかった」と。

田中さんが登頂したその日にたまたま多くのゴミが散乱していたのかも知れないが、地元住民としては恥ずかしい話だ。今、二上山では毎日登る人達の中で、金バサミとレジ袋とを持ってゴミを拾っている人が少なくない。お陰で主要な登山路や頂上付近ではゴミが少なくなった。つい最近土庫病院友の会フットケアサークルの集まりで「久しぶりに二上山に登ったら山がきれいになってた。階段も整備されてたし」と喜ぶ人がいたとの話が伝わってきた。多くの人達の地道な努力は実を結んでいるのだ。



しかし喜んでばかりは居られない。枝道や林の中に入る

二上山のサザンカ

と、そこにはペットボトル、空き缶、ビニール袋などなど大小さまざまなゴミが捨ててあるのだ。山麓の道路脇には電化製品など大型ゴミが林や草むらの中に投げ入れられ、長期間放置されている。田中さんが雄岳頂上で叫びたかった言葉を私もありったけの声で叫びたい。

しかし、この問題はモラルの貧困とともに政治の貧困、生活の貧困の問題でもあると思う。政治の問題では、政府が大企業におもねって実施しないでいるデポジット制(製品価格に廃棄料を含ませ、不用となった製品持参者にそれを返却する制度)を大幅に実施すべきだと思う。(以上 133号)

左は祐泉寺横の栈道(昨年末有志によって改修された)

